

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指 標	R7	R6	R5	増減理由等
施設利用者数	221,269	4,155	77,199	大規模改修工事に伴う休館(令和5年8月～)を経て、練習室は令和7年2月、ホールは令和7年4月に順次利用を再開したことから、利用者数が大幅に増加している。 なお、令和6年度のホール利用率については、令和7年3月28日のリニューアルオープン記念式典が、令和6年度唯一のホール開放日であったため、利用率が100%となっている。
利用率(ホール)	67.4%	100%	63.9%	
利用率(練習室)	74.8%	78.0%	74.5%	
コメント	令和7年4月に全面リニューアルオープンし、利用者数は大幅に増加した。今後も、利用者が安心して利用できる環境づくりを継続していくとともに、利用促進に努めていく。			

2 施設収支状況

(単位: 千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	483,028	478,734	463,861	人件費	137,429	137,554	131,862
委託料	49,830	28,439	0	事業支出	539,527	417,402	447,753
利用料金収入	52,283	1,129	18,160	県納付金(寄付金)	0	0	0
基金取崩収入	0	0	10,000	修繕費	28,857	36,386	9,434
その他事業収入	120,306	67,148	82,198	その他経常支出	4,781	1,443	2,842
合 計(①)	705,447	575,450	574,219	合 計(②)	710,594	592,785	591,891
収支差額(①-②)	-5,147	-17,335	-17,672				
コメント	委託料の内訳は、カフェ区画整備業務、第30回宮崎国際音楽祭記念公演、開館30周年記念事業、徳永二男氏県民栄誉賞受賞記念コンサート。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清掃 日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス・カーペット)
	保守・点検 舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警 備 常駐警備
	修 繕 県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施
	備品等管理 ピアノ等定期点検実施
	安全対策 危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、避難訓練
	そ の 他 光熱水費削減
企画運営業務	サービス提供体制整備 - 丁寧な接客によるリピーター獲得及び接客スキル向上研修の導入 - インターネットを利用したチケット予約システム及び施設予約システムの充実 - ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応
	イベント等ソフト面充実 - 自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援) - 宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 ・友の会会員への広報活動強化 - テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ・ホームページのリニューアル - SNS、メールマガジンの活用 - キャッシュレス決済の導入・拡大 - 練習室のネット予約の導入・拡大
	施設設備等ハード面充実 館内カフェの改修
	そ の 他 美術館・図書館・博物館と連携した4館見学ツアーの実施
管理運営体制 30名(県派遣職員1名、正職員29名(令和8年4月1日現在))	
コメント	- 休館中の県内各地での事業実施で培った地域や他施設との連携を活かし、県民の芸術文化の拠点として、より県民に愛される劇場づくりに努めることができている。 - 劇場は施設の経年劣化が進んでいるため、今後とも計画的かつ効率的な改修に努めていく。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査、意見箱、ホームページお問い合わせメールフォーム	
調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
・公演の企画内容やスタッフ対応、料金の設定等、いずれも高い評価を得ている。 ・近年は来場者の年齢層が高齢化しており、エレベーターや車椅子の利用に関する問い合わせが増加している。 ・一方で、家族連れのお客様も増えており、より幅広い世代の方々に親しんでもらえるような取組を推進する必要がある。		どなたでも快適かつ安全に利用いただけるよう、安全を最優先とした管理運営を行うとともに、喫緊の課題であるバリアフリー化の推進に向けて、県と連携・協議し、環境整備に努める。 引き続き、多様な舞台芸術や幅広い世代の方々が楽しめる公演など、県民のライフスタイルに応じた企画を実施し、利用者サービスの更なる向上を図る。
駐車場不足のため、特に大規模公演開催時などは来館者からの苦情が多い。		大規模催事の主催者と緊密に連携し、広報時に公共交通機関の利用案内を徹底させ、公共交通機関の利用促進を図る。 駐車場不足は、文化公園全体の課題であることから、関係機関と連携し、引き続き改善に向けた検討を進める。

5 総合評価

評価コメント	令和7年4月のリニューアルオープンを心待ちにしていた県民の期待に応えるべく、施設サービスの更なる充実や利便性の向上を図るとともに、良質な舞台芸術に触れる機会を提供した。 また、第四期指定管理期間においては「より親しみやすく」「裾野を広げる」を目標として掲げ、全県的な文化振興に取り組んだ。休館中の県内各地での事業実施で培った地域や他施設との連携の成果を活かし、令和7年度も継続してアウトリーチ事業等を行った。 さらに、ネット予約システムやキャッシュレス決済の導入等、指定管理者制度の目的である利用者サービスの向上についても一定の成果を得ている。
今後の課題と対応	未就学児を対象とした公演の拡充等により、未就学児の来場者数は年々増加していることから、施設内における授乳室やベビーケアルームの導入を検討し、子育て世代の利便性と満足度の向上を図る。 なお、駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。